

1B-13 抗てんかん薬服用患者の好中球数についての検討

長野赤十字病院精神科

北原明彦 鷲塚昌一 高橋武久 野田敏次

抗てんかん薬の造血器系の重篤な副作用として再生不良性貧血・無顆粒球症などがあり、それらに対し十分な注意が必要であることは言うまでもないが、それらを予防する意味で抗てんかん薬の減量・中止をどうするかについての基準は未だつくられておらず、また諸家により種々の意見があるのが現状である。今回我々は、薬剤による血液障害のうちで最も多くみられ、しかも感染症との関係から臨床上最も注目すべき好中球数に着目し検討した。

対象：1983年1月から1990年12月までの8年間に長野赤十字病院精神科で抗てんかん薬服薬中、末梢血液検査を3回以上うけたてんかん患者である。研究の対象となった症例は327症例である。年齢は16-65才までとした。採決時感染症・炎症の存在を疑わせる臨床症状のある場合は対象から除外した。なお抗てんかん薬の血中濃度には十分注意を払ったため、長期間極端な高濃度を示した症例はない。

結果：全327症例の好中球数の最小値の平均は $1909 \pm 732/\mu\text{l}$ であり最高値の平均は $4482 \pm 1576/\mu\text{l}$ であった。一般に好中球数の正常値は $2500-5000/\mu\text{l}$ 程度といわれており、抗てんかん薬服薬患者の好中球数が少な目であることは予想できる。さて、このうち一回でも好中球減少症（好中球数が $1500/\mu\text{l}$ 以下）となったものは、31.2%（102/327）であり、一回でも $1000/\mu\text{l}$ 以下になったものは、10.4%（34/327）あった。また、全症例における最小値は $570/\mu\text{l}$ であった。1000/ μl 以下になったもの34症例のうち最小値を示したときの服用薬剤数は、抗てんかん薬に限っていうと、単剤治療例：4例、2剤治療例：7例、3剤治療例：11例、4剤治療例：6例、5剤治療例：6例であり、多剤治療例に多い傾向がみられた。なお何れの症例においても好中球減少に対し、抗てんかん薬の減量も中止もおこなっていない。

考案：確かに抗てんかん薬服用により好中球減少傾向はみられるが、抗てんかん薬の血中濃度と末梢血液像のチェックをおこなうなければ、好中球減少が臨床上問題になる症例はほとんどないものと考えた。

1B-14 抗てんかん薬の選択順位設定の経験
(1) 症候性部分てんかん

国立療養所山形病院・南東北てんかんセンター

二本松会山形病院* 山形大学医学部精神神経科**

○芳賀幹雄 曾我孝志

大堀守一* 十束支朗**

てんかん発作の薬物療法の原則は適薬適量であり、発作型に適う薬物の選択順位も提唱されている。我々は、症候性部分てんかんの部分発作には、CBZ→PB→PHT→ZNS→VPAの順番での試用を原則とする方式を採用した。その3年半の実地結果を、焦点部位別、発作型別に検討した。対象は、入院精査を経験した67例（男34例、女33例）。平均年齢22.7歳、平均病期間12.4年、平均入院期間は7か月であった。結果を述べる。焦点部位別には、側頭部36例、前頭部13例、中心部4例、後頭部14例であった。発作累計は、単純部分発作（SPS）23例、複雑部分発作（CPS）56例、二次性全般化発作（sGTC）34例であった。入院による発作改善率は、著効例がSPS、CPS、sGTCでそれぞれ26.1%、44.6%、73.5%、有効例が同じく39.1%、35.7%、5.9%であった。発作全例での著効例は49.5%、有効例は27.4%であった。薬剤数は全症例平均で入院時3.3、退院時2.6であった。単剤有効例はSPS、CPS、sGTCそれぞれで13.0%、12.5%、11.8%であり、2剤有効例は同じく17.4%、26.8%、29.4%であった。退院時、各症例に対して一定の薬効評価を行い得た薬剤は、80.2%にのぼった（1発作につき平均0.7剤が評価をなし得なかった）。CBZ、PB、ZNSは後頭部焦点症例を、またPHTは中心部焦点症例を、それぞれ除けば有効度が高かった。VPAは後頭部焦点症例にのみ、また他薬剤と比較しても高い有効度を示した。BZPの有効度は概ね低かった。発作型別では、SPSにおいては、ZNS、CBZ、PBの順で、CPSでは、PB、PHT、ZNS、CBZの順、sGTCでは、CBZ、ZNS、PB、PHT、VPAの順でそれぞれ高い有効性（50%以上の発作抑制率）を示した。すべての発作型でBZPの有効性は低かった。発作が完全には抑制されない場合、我々の方式でも少しでも有効と判明した薬物はそのままとなる傾向を認めた。治療薬の選択順位を予め決めておく方式は有用であると確認された。